

## 令和6（2024）年度 資源評価調査報告書（拡大種）

|       |   |       |      |
|-------|---|-------|------|
| 種名    | シリヤケイカ  | 対象水域  | 瀬戸内海 |
| 担当機関名 | 水産研究・教育機構 水産資源研究所<br>底魚資源部、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、岡山県農林水産総合センター水産研究所、徳島県農林水産総合技術支援センター、香川県水産試験場 | 協力機関名 |      |

## 1. 調査の概要

瀬戸内海の各県において、本種に関する漁業の概要、生物学的特性、過去の漁獲量やCPUEならびに現在実施されている各種漁獲制限などの情報収集もしくは調査を行った。詳細については以下の通り。

兵庫県では兵庫県海域における漁獲量データを収集した。

岡山県では標本漁協の標本船における小型底びき網漁業による漁獲量（他のコウイカ類の混入あり）、CPUEデータを収集した。

徳島県では播磨灘および紀伊水道の標本漁協における小型底びき網による2005年以降の漁獲量とCPUEデータを収集した。

香川県では備讃瀬戸海域の漁連集荷場において、その他の網漁業（魚込網）による漁獲量データを収集した。

## 2. 漁業の概要

瀬戸内海の各県各海域における本種を対象とした漁業の概要について、各県単位で記述した。詳細については以下の通り。

兵庫県では主に小型底びき網で漁獲される。

岡山県では主に小型底びき網で漁獲される。その他、小型定置網漁業でも漁獲されている。

徳島県では主に小型定置網で漁獲される。

香川県では主に小型底びき網により漁獲される。その他の網漁業（魚込網）でも漁獲されている。

## 3. 生物学的特性

(1) 分布・回遊：東北地方南部以南、西太平洋温・熱帯海域の陸棚域帯に分布する（奥谷2017）。瀬戸内海西部域における回遊については上田（1985）により報告されている。宇和海および伊予灘西岸の沖合域で越冬した親イカは、3～4月上旬に西部瀬戸内海奥部の周防灘、備後芸予瀬戸から燧灘にむけて産卵回遊を開始する。産卵場へは分散的に移動し、4月中旬～5月に各海域7～10mの浅海に到達し産卵する。6～8月頃に

- 孵化した稚仔は浅海域で発育したのち、沖合 10 m 以深に移動、その後は 10 月下旬に越冬回遊を開始し、宇和海および伊予灘西岸に到達する。
- (2) 年齢・成長：寿命は 1 年。6～8 月頃にふ化した稚仔は 9 月に甲長 2.0～6.5 cm、10 月に 3.0～11.0 cm、12 月までに 7.0～14.0 cm に成長し、その後の成長は鈍化する（上田 1985）。
- (3) 成熟・産卵：産卵期は 4～7 月で多回産卵を行う（上田 1985）。
- (4) 食性：外套長 5 cm 以下でアミ類、5 cm 以上ではエビ・カニ類、エビジャコ類、カイアシ類、魚類を捕食する（岡村・山田 1986）。

#### 4. 資源状態

- 瀬戸内海の各県各海域の標本漁協における漁獲量と CPUE の推移を示す。
- ・岡山県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり、長期的な傾向は把握できないが、ここでは標本漁協における 2023 年の海域別月別の漁獲量と CPUE を示した（図 1）。引き続き調査を継続する必要がある。
  - ・兵庫県海域および香川県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり、今後の情報の蓄積を待つ必要がある。
  - ・徳島県標本漁協の漁獲量は、播磨灘・紀伊水道ともに 2018 年以降比較的低い水準でかつ横ばいで推移している（図 2、3、表 1、2）。

#### 5. その他

岡山県では漁業者の自主的な取り組みとして、小型底びき網漁業の袋網の目合い拡大措置を講じている。

#### 6. 引用文献

- 岡村 収・山田梅芳 (1986) シリヤケイカ. 「東シナ海・黄海のさかな Fishes of the East China Sea and the Yellow Sea」, 水産庁西海区水産研究所, 長崎, 462.
- 奥谷喬司 (2017) シリヤケイカ. 「日本近海産貝類図鑑」奥谷喬司編, 東海大学出版部, 平塚, 1133.
- 上田和夫 (1985) シリヤケイカの成長, 成熟及び移動生態に関する研究. 南西海区水産研究所研究報告, **19**, 1-42.

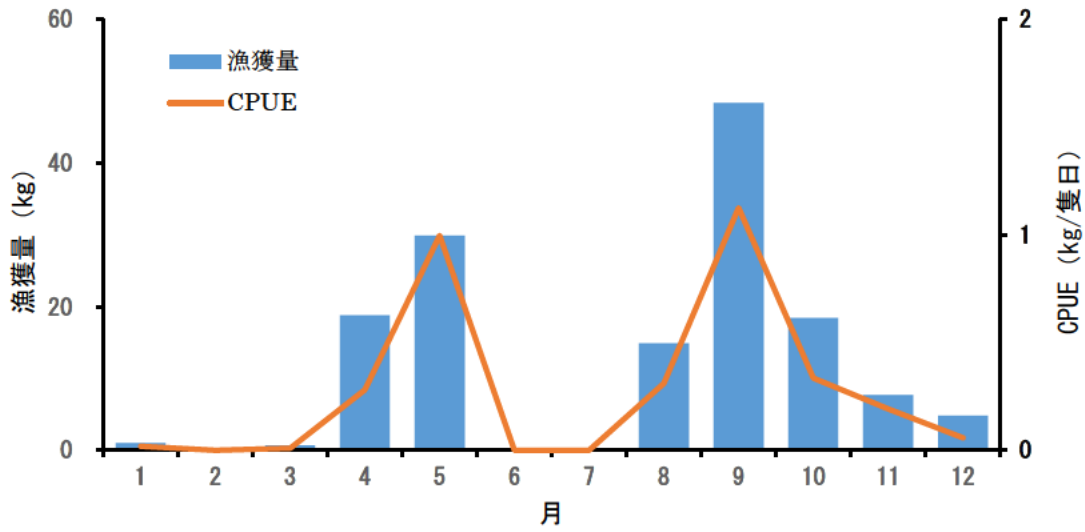


図 1. 岡山県の東部海域における標本漁協の標本船（8 隻）による 2023 年のシリヤケイカの月別の漁獲量ならびに CPUE

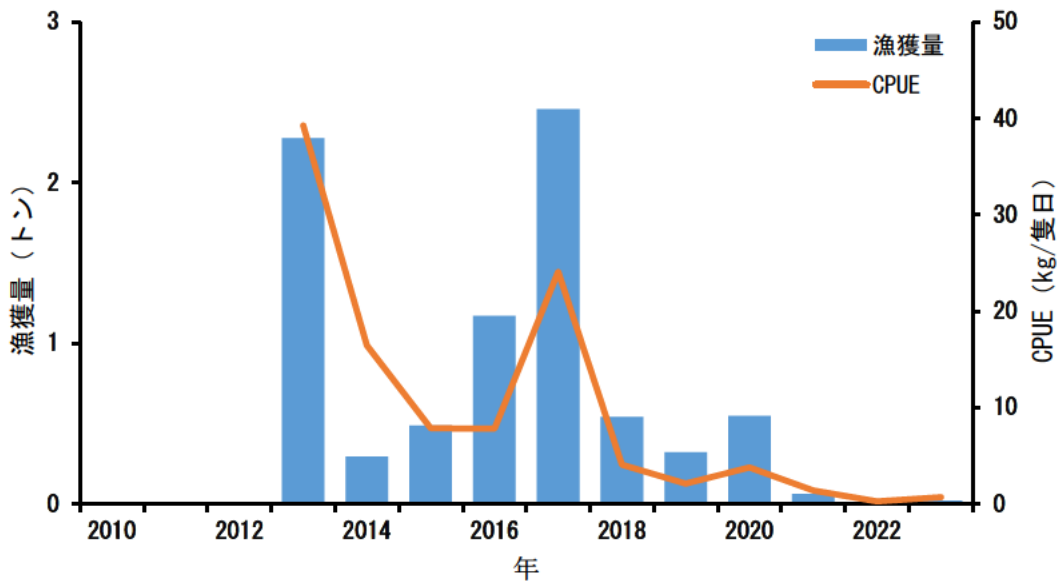


図 2. 徳島県播磨灘の標本漁協におけるシリヤケイカの漁獲量ならびに CPUE の経年変化

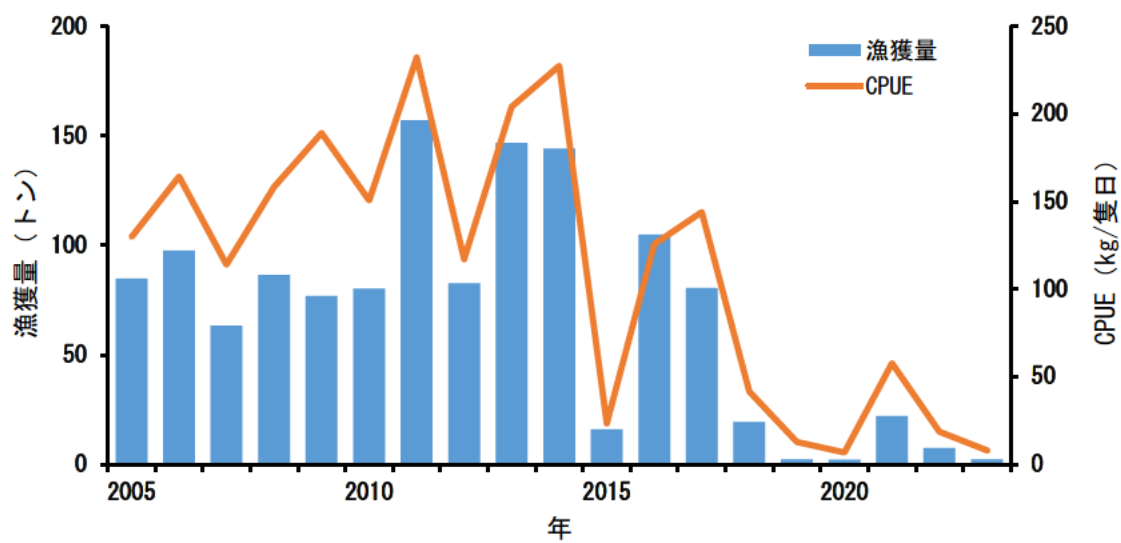


図 3. 徳島県紀伊水道の標本漁協におけるシリヤケイカの漁獲量ならびに CPUE の経年変化

表 1. 徳島県の標本漁協におけるシリヤケイカの漁獲量\*の年変化

| 県名   | 徳島県       |            |
|------|-----------|------------|
|      | 標本漁協（播磨灘） | 標本漁協（紀伊水道） |
| 漁法   | 小型底びき網    | 小型底びき網     |
| 2005 |           | 84,889     |
| 2006 |           | 97,585     |
| 2007 |           | 63,314     |
| 2008 |           | 86,501     |
| 2009 |           | 77,015     |
| 2010 |           | 80,329     |
| 2011 |           | 157,299    |
| 2012 |           | 82,726     |
| 2013 | 2,278     | 146,822    |
| 2014 | 296       | 144,281    |
| 2015 | 488       | 15,972     |
| 2016 | 1,172     | 105,014    |
| 2017 | 2,458     | 80,643     |
| 2018 | 541       | 19,339     |
| 2019 | 323       | 2,347      |
| 2020 | 550       | 2,148      |
| 2021 | 62        | 22,128     |
| 2022 | 1         | 7,554      |
| 2023 | 23        | 2,389      |

\* 漁獲量：単位（kg）

表 2. 徳島県の標本漁協におけるシリヤケイカの CPUE\*の年変化

| 県名   | 徳島県       |            |
|------|-----------|------------|
|      | 標本漁協（播磨灘） | 標本漁協（紀伊水道） |
| 漁法   | 小型底びき網    | 小型底びき網     |
| 2005 |           | 129.80     |
| 2006 |           | 164.28     |
| 2007 |           | 114.08     |
| 2008 |           | 158.43     |
| 2009 |           | 189.23     |
| 2010 |           | 150.71     |
| 2011 |           | 232.35     |
| 2012 |           | 117.18     |
| 2013 | 39.27     | 204.20     |
| 2014 | 16.47     | 227.57     |
| 2015 | 7.87      | 23.42      |
| 2016 | 7.81      | 125.77     |
| 2017 | 24.10     | 144.01     |
| 2018 | 4.07      | 41.59      |
| 2019 | 2.11      | 12.83      |
| 2020 | 3.79      | 6.84       |
| 2021 | 1.40      | 57.78      |
| 2022 | 0.28      | 18.65      |
| 2023 | 0.71      | 7.99       |

\* CPUE：単位（kg/隻日）